

2021年6月末現在
 組合員 4,297人
 出資金 1億6,559万円
 5～6月の動き
 組合員 新規加入20人
 脱退12人



西濃医療生活協同組合

医療生協



第123号

2021年7月10日発行
 (奇数月発行)
 〒503-0982 大垣市久徳町153-1
 TEL 0584-92-3268
 ホームページ seinou.coop
 編集 機関紙編集委員会

第20回通常総代会を、6月20日大垣市情報工房で開催



創立20周年を迎え
第20回通常総代会開催

6月20日、大垣市情報工房スィンクホールにて通常総代会を開催しました。まん延防止期間であることから出席総代は30人でしたが、書面議決書提出総代が70人で、総代会は成立し、すべての議案が賛成多数で可決されました。

総代会開会にあたり、山河理事があいさつと成立宣言を行いました。「今からちょうど20年前の6月3日に創立総会を開催し、岐阜県で初の医療生協が誕生しました。この20年間、厳しい時期もありましたが、みんなの力で乗り越え、支部や

班の健康づくり活動の広がりとともに診療所・介護事業への地域からの信頼と期待が寄せられる医療生協になってきました」とあいさつ。

これまでの20年とこれからを指し示す重要な意味をもつ総代会になりました。木村理事長のあいさつ(本紙2頁)の強調点もそこにありましたし、専務理事の交代と事業所管理者の理事就任など、事業と組合員活動のいっそこの発展を期す体制づくりも行われました。

せいりゅう

しずさと診療所での新型コロナウイルス接種が始まって1か月が過ぎようとしています。これまでに1000名以上の方の接種を大きなトラブルもなく実施することができました。今後も、65歳以上の方の2回目接種、64歳以下の一般の方への接種と続いていきます▼診療所内でワクチン対策委員会を立ち上げ、岡野医師を中心に全職種が関わって実際にシミュレーションなども実施しながら接種体制の準備を進めてきました。接種開始にあたっては、どのように接種を行うのか、職員の体制はどうするのか、救急対応のための設備・備品の準備、受付から接種、接種後の待機場所をどうするかなど決めなければならぬことが多々ありました▼新型コロナウイルスは保管するための温度管理やワクチンを注射器に詰める際の手順が非常に煩雑で、取扱いが難しく、担当する薬剤師や看護師は人手と時間を掛け業務を遂行しています。予約受付の際には、電話が繋がりにくく皆様にご迷惑をお掛けしましたが、事務職員は根気強く予約日程のご案内を進めています。医師は接種前の問診と接種後の経過観察、リハビリスタッフには不慣れな受付業務や予約の確認などをお願いし、まさに診療所一丸となって接種を進めています▼接種開始時期の急な変更やワクチン供給の問題など時々刻々と変化する状況への対応も迫られ、準備には非常に多くの時間と手間を費やすこととなりました。しかし無事に接種開始を迎え、「スムーズに接種が終わって良かった」という言葉を患者さんから聞いた時、しっかりと準備できて良かったなど実感できました。まだまだ多くの接種を予定しています。土日の接種も続きますが、かかりつけのしずさと診療所で安心して接種したいという皆さんの期待にこたえられるよう、職員一同励ましています。

看護師長 水島弘子

総代・役員（理事・監事）・職員あわせて60人が参加し、議案を討議し賛成多数で可決しました。



総代会での理事長あいさつ

理事長 木村隆之

西濃医療生協組合員、総代のみなさん。コロナ禍と、加えて、ひたすら自粛と自己負担を求め、国の政策のもとで、大変な苦労をされてきたと思います。そんな中でも、西濃医療生協の事業や運動の発展に尽力された、組合員、総代の皆さんに敬意を表します。

2020年度5大ニュース

西濃医療生協の2020年度5大ニュースを挙げてみます。

第1に、岡野高久氏を常勤医師として迎えました。岡野医師は、西濃医療生協の医療理念と実践への強い共感にもとづいて就任されました。第2に、常勤医師の退職にコロナ禍なども重なり、落ち込んだ医療事業を早期に立て直し、黒字経営の復活を確実にしました。第3に、「介護センターしずさと」はじめ、介護事業でもコロナ感染防止を徹底して介護事業を縮小することなく維持し、地域からの信頼をいっそう高めました。第4に、「NPO法人・西濃たすけあい」を設立しました。いのちと健康をはじめ、くらしのあ

らゆる場面で、たすけあい、支えあう医療生協の使命をはたす大きな拠点ができました。第5に、コロナ禍のもとでも創意工夫をこらし、支部・班活動を進めました。「居場所」「たまり場」づくりを発展・定着させ、全国的にも注目されるようになりました。この一年間にも西濃医療生協の「底力」が改めて示されました。

西濃医療生協創立20周年

おりしも、本年度は西濃医療生協創立20周年です。20周年ということとは、いよいよ大人の生協になることです。つまり、他者や社会に影響を及ぼし、かつリードする存在になるといえます。このことを西濃医療生協に即して考えてみましょう。

それを一言でいえば、「事業と運動の幅を大きく広げる」ことです。まず、事業では、若い世代、現役世代の期待に応えられるように事業の幅を広げていくことです。事業内容でも「健康づくり」や「総合生活相談」などにも幅を広げていくことです。地域的にも大垣西部だけにとどまらず、西濃全域に事業の幅を広げていくこと、その際には診

療所を増やすことだけにこだわらず、地域の医療・介護体制にも働きかけることが求められます。次に、運動面でも幅を広げていかなければなりません。西濃全域の隅々にまで「居場所」「たまり場」をつくり、医療生協の活動拠点を広げ、それを「いつまでも自分らしく暮らせる」「居心地よく暮らせる」地域づくりの拠点にもしていくことも求められます。

西濃医療生協これからの20年

西濃医療生協のこれからの20年は、こうした壮大な課題に果敢に挑戦する20年間になると思います。一見して夢や絵空事にもみえる課題ですが、事業や運動も人間と同じように、大きな目標を持たなければ発展はありません。まさに「少年よ大志をいだけ」です。最初に述べたように、私たちは大志にふさわしい「底力」を身に付けてきました。これを基礎とすれば、夢の実現にむけて踏み出すことは可能であり必要でもありません。本年度は新たな20年に踏み出す最初の1年です。それにふさわしい総代会になることを期待して、挨拶とさせていただきます。

賛成多数で可決された6議案

- 第1号議案 2020年度活動報告・事業報告承認の件
- 第2号議案 2021年度活動方針・事業計画決定の件
- 第3号議案 2020年度決算承認および2021年度予算決定の件
- 第4号議案 役員報酬決定の件
- 第5号議案 役員退任慰労金支給の件
- 第6号議案 役員補充選挙の件

役員補充選挙では、正岡真弓訪問看護師、水島弘子看護師長、堀井聡至リハビリ科長、水野明みどり病院事務次長の4人が新たに理事に加わりました。



新しく理事に就任した堀井リハビリ科長、水野みどり病院事務次長、水島看護師長、正岡訪問所長

「健康をつくる・平和をつくる・いのち輝く社会をつくる」 医療生協の理念実現にむけて、 中長期の展望をより充実させる年に

総代会は、関豊明総代を議長に選出し、松岡専務理事からの6議案一括提案を受け、全体討議の後、議案ごとに採決し、全議案が賛成多数により可決されました。

2020年度は、コロナ感染防止を徹底して医療・介護事業を維持し、健康づくり活動においても人のつながりを大切にしてきたこと、岡野医師が常勤医として加わったこと、本部機能強化と組合員活動を推進する体制づくりの検討を重ねる新年度活動方針につなげたことなど、困難ななかでも将来にむ

けた展望を作り出してきたことを評価しています。

事業経営でも、医師体制が弱まったことに加えてコロナ禍の影響を大きく受け、約2千万円の赤字決算となる厳しい年になりましたが、下半期においては経営改善の努力がみられ、新年度での黒字転換の道筋がみえる状況を作り出すことができました。

コロナ禍のもとで、健康と暮らしにかかわる社会保障が十分ではない問題が浮き彫りになるなかで、医療生協の「健康をつくる・平和をつくる・いのちを担っていききたいと思えます」とあいさつがありました。

中村新専務理事は「事業と組合員活動が一体となって、医療生協らしい活動を進め、明るい未来を切り開いていきたい。組合員の皆さんといっしょに医療生協活動を進めていけるよう頑張っていきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願ひします」と力強いあいさつがあり、



専務理事に就任した中村英洋さん
第20回通常総代会を閉会しました。

松岡専務理事が退任し 中村常務理事が新専務に

総代会議事終了直後に第1回理事会を開催し、創立以来20年にわたり専務理事を務めてきた松岡和彦さんが退任して、後任に現診療所事務長の中村英洋常務理事が専務理事に就任し、退任した松岡さんは常務理事として医療生協活動を担っていくことが報告されました。

ち輝く社会をつくる」という理念の実現にむけ、今まで以上にその役割を發揮することが求められています。人と人のつながりを広げ、健康づくりを進める班会ふやし、総合相談活動、生協活動の拠点づくりなどを重点方針に、4500人組合員にむけた仲間ふやし、次世代にむけた担い手ふやしを進めていきます。

全体討論では、次のような質問・意見が出されました。

○宇津時雄総代「コロナ感染が1年以上にわたる厳しい環境のなかで、職員の皆さんが頑張って事業を継続してきたことに心から感謝したい」と発言があり大きな拍手につつまれました。

○長谷川金重総代「診療所では新しい患者がどれくらい増えているのか。常に新しい患者が増え続けていくことが大切だ。みんなで力をあわせて診療所を盛り上げていこう」

患者増の質問に対する中村事務長「毎月20人程度の新しい患者さんが来院されている。減少も少なくないので増やしていくことが大切と考えている」
○古橋和仁総代「神戸支部では仲間ふやしに苦労している。診療所が遠距離であること、健康づくりは今自治体などでもやられていて、医療生協の魅力を語りきれない。日常的に地域に見える活動拠点がほしい」

○河村秀一総代「75歳以上の高齢者医療費負担を2倍にする法案が強行採決

故馬淵秀人さんを偲ぶ



医療生協発起人時代から、医療生協の創立と発展のために尽力された馬淵さんがじくなられました。

診療所建設にむけて組合員ふやしで戸別訪問したこと、患者送迎活動やウォーキングの会、山楽会も中心的にリードしていただいたことなど、長年にわたり医療生協へ貢献されました。

心より感謝しご冥福をお祈り申し上げます。
宇津時雄

された。対象者の年収が200万円以上となっているが、その設定が容易に変えられる仕組みになっている。大垣市老人医療費助成制度『垣老』がどうなるか。制度設計を根本的に変えていく必要があると考えている」

○常勤医岡野高久医師「父親の転勤で、子どもの頃から大垣市に縁があり、しずさと診療所には3年前から非常勤で働いてきた。柄澤所長はじめスタッフの医療に取り組む姿が、私の描いていた医師像と重なることが多く、常勤医になることを決意した。専門である循環器を活かしながら医療活動を進めていきたい」

これらの意見もふまえて、皆さんとともに新年度の重点課題を実践していきます。ぜひ、よろしくお願ひします。

よく使われる漢方薬のご紹介⑤

ぶし
附子 強心、利尿、鎮痛作用

(トリカブト)

今年5月、富山市の飲食店
で出された山菜のモミジガサ
のおひたしを食べて、客2人
が意識消失となり、救急搬送
される事故が起きました。よ
く似た葉のトリカブトがその
中に含まれていました。

トリカブトは猛毒で知られ
る高山植物です(写真)。毒の
本体はアコニチンと呼ばれ、多くの天然の毒や薬
が属するアルカロイドの一員です。毒は根に多い
のですが、全草に存在します。花にも蜜にも毒が
あります。東北や北海道など比較的低い所でも咲
く地域では養蜂業者も注意しています。和名では
附子と言われ、附子の毒で神経が麻痺しておかし
な顔になることから、美人の対義語のブスは附子
からきたとの説があります。狂言の題材や一休さん
のとんちにも登場します。いずれも砂糖や水飴
を附子と偽って隠し持っている主人や和尚に対し、
家宝の茶碗などをわざと壊し、死んで詫びるため
になめた、と言うものです。古来「なじみ」の毒
物だったようです。

トリカブトの根を高圧蒸気処理して毒を減じて

しずさと診療所医師 柏谷志郎

(月曜と水曜の午前診療を担当)



漢方薬として使用しているのが現在の附子です。
附子を加えた処方として麻黄附子細辛湯（マオウ
ブシサイシントウ）、真武湯（シンブトウ）や八味
地黄丸（ハチミジオウガン）が『傷寒論』や『金
匱要略』に登場しており、1800年以上前には毒を
減じて薬とすることを知っていたこととなります。
多くの薬は使用量を増やせば危険なことになるこ
とは常識となっています。しかし、毒を減じて薬
とすることは容易な発想ではありません。どうやっ
て効果を下げるのか、下げた結果何に効くのか、
暗中模索であったと思われます。何人の命がかかっ
た試行だったのでしょうか。漢方医達の深い洞察
力と命をかけた挑戦に驚きと敬意を表せずにはい
られません。時代は下りますが、華岡青洲が、こ
の附子とチョウセンアサガオを主とする麻酔薬を
世界に先駆けて考案して外科手術を行っています。
薬の実験台となった母は死に、妻は失明していま
す。今では倫理条項に抵触しますが、当時はそん
な方法しかなかったようです。

体を温めて、痛みをとる作用が優れています。
強心作用、利尿作用もあります。附子末として処
方されますが、単独で使うことは稀で附子を含む
処方として使うか、他の処方に附子末を追加します。

健康委員会

健康チャレンジ

健康チャレンジ結果報告書を提出してくださ
った皆さん、ありがとうございました。申込数が
237、結果報告数が214ありました。

一番多く選ばれたコースは「運動」でした。
チャレンジ参加のきっかけは、生活習慣病やフ
レイルの予防でした。コロナ禍で、運動不足を
自覚されている方が多かったようです。

チャレンジ後の感想としては、「今後も続け
ていきたい」「次回も健康チャレンジに参加し
たい」「運動するいいきっかけになった」との
声を多くいただきました。来年も企画したいと
思いますのでぜひご参加ください。

今回初めての試みでラッキー賞を20本用意
しました。6月14日に厳正なる抽選を行い、当選
者にクオカードを贈りました。

なお、結果報告書を提出
した方で参加賞をまだ受け
取っていない方は、齋藤
(090-4860-4505) か本部
までご連絡ください。

健康委員会では9月末か
10月初めに健康講座を開催
します。こんなテーマで企
画してほしいという要望が
ありましたら是非健康委員
か本部までお知らせくださ
い。皆さんのご意見ご要望
をお待ちしています。



しずさと診療所 新型コロナウイルス ワクチン接種について

新型コロナワクチンは、ワクチン管理上から、国→県→市町村へと供給されています。そのため、しずさと診療所では原則大垣市内在住の方を対象に接種を行っています。市外組合員の方々の要望に応えられないルールになっています。しずさと診療所での状況についてご報告します。

診療所での接種数について

6月22日現在、しずさと診療所ではのべ1,234名の方に新型コロナウイルスワクチンの接種を実施しました。うち、165名の方が2回目の接種を終えられました。まだ2回目の接種の大半が残っていますが、その後も64歳以下の方向けの接種を継続して実施していきます。

6月6日付け岐阜新聞に基づくと、大垣市内の65歳以上の24%（約10,500人）が1回目の接種を終了しました。その時点で、しずさと診療所は、約550名の方の1回目接種を終えていました。大垣市全体のワクチン接種の約5%をしずさと診療所が担っているという計算になります。集団接種に加え市内約70の医療機関が個別接種を担当していますが、診療所は個別接種においてはおそらく突出した接種数だろうと思われれます。これまでインフルエンザワクチン接種を毎年多数実施してきた経験と、休日返上で取り組む職員の踏ん張りが大きな成果として現れています。

診療所でのワクチン接種方法について

新型コロナウイルスワクチンは、ご存じのように従来のワクチンとは異なる新たなものであり、今回は医師が問診に専念するために接種を看護師が担当するという体制で実施しています。



接種を受けられた際に「医師が接種しないの?」と思われた方もあるかもしれませんが、「肩への筋肉注射」は診療の中で日常的に看護師が担う医

接種終了後、15～30分の経過観察中の皆さん



療行為であり、むしろ医師より経験豊富ですのでご安心ください。

ワクチン接種開始に至るまでの経過とお詫び

まずは、65歳以上の方の接種予約について、大きなご迷惑・ご心配をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

今回接種開始に至るまでには、いくつもの課題がありました。ワクチン供給は予定通りされるのか?いつから接種を始めることができるのか?予約日時はどのように決定するのか?など医療機関も手探りのなか準備を進めました。行政からは予約手順やワクチンの供給などの情報提供は直前であることがほとんどで、多くのことを数日以内に確認・決定しなければなりません。そういった状況の中で、接種を希望される皆様には、予約の段階で多大なご迷惑をお掛けする結果となりました（64歳以下の方の接種においてはインターネット予約システムを導入しました）。

行政も大きな混乱を抱えながら準備を進めておりましたので、市のワクチン対策室とは何度も電話やFAXでやりとりを行ってきました。円滑な接種実施のための医療機関側の意見をリアルタイムでお伝えさせていただき、かつリアクションもあるといった経験は従来にはなかったことですので、今回の苦労も今後の保健行政改善のための一助となるのではないかと前向きにとらえています。

今後の接種について

大垣市在住の組合員の皆さまには折込みチラシをご覧くださいと思いますが、前述の通り、64歳以下の方の接種も引き続きしずさと診療所で実施していきます。接種は木曜日の夜、土曜日の午後、日曜日の午前を予定しています（接種を行わない日程もあります）。市からクーポン券が順次配送される予定となっておりますが、受付開始の案内が届いた方からご予約をお取りください。

（事務長 中村英洋）

宇留生支部

歴史散策に参加して

今回はお隣の神戸町で歴史散策をしました。支部の中に神戸支部の知り合いがいるということから計画が始まり、行くことに決定。2月25日に広神戸駅に集合し、神戸支部の方と合同歴史散策となりました。最初に駅前にある神戸町特産物のお店に入りました。色々と説明を聞きながら、街の中をぶらぶら歩き、日吉神社へと向かいました。火わたります所に到着しました。長

い参道のその奥に日吉神社が見えていました。ボランティアの方によると、日吉神社の祭礼は岐阜県重要無形民俗文化財に指定されており「神戸の火祭り」と呼ばれているそうです。川を渡ると聞きましたが、実際に見えたのは川ではなく、水が溜まっている感じのところで、神輿が全力疾走し、担ぎ手も代わる、とても迫力のあるお祭りだそうです。

さらに奥へと進むと三重塔がそびえたっていました。と

ても歴史のある建物だとすぐにはわかり、室町時代に建てられたそうですが、長い時が経っているのに今もりっぱに存在していることをふしぎに感じました。そんな歴史ある神社とも知らずにいましたが、これからは日吉神社を見る目が変わってくると思います。古い歴史を知ることの大切さを感じましたし、今度いつか日吉神社に行った際には、今までと違う景色に映るかもしれません。

M・U

西支部 健康講座

「心臓の話」

「1つすれば心臓長持ち」

西支部健康講座が、5月15日、しずさ診療所待合室にて、34名の多数参加で開かれました。

講師は岡野高久先生。どうすれば心臓が長持ちできるかを詳しく、丁寧に解説してくださいました。参加者から、自分の体調の思わ

しくないところなど、いくつかの質問が出されました。

心臓を長持ちさせる魔法や近道はなし。秘訣は普段から食事や運動による生活習慣の是正と早めの受診だそうです。

八十路も過ぎると、普段は家の近くの人としか出会うことができません。久しぶりの顔合わせで、楽しかったです。

山田七緒子

グラウンドゴルフで楽しく健康づくり

実施日 7月14日(水) 20日(火) 29日(木)
8月4日(水) 12日(木) 20日(金)
24日(火) 30日(月)
時間 12時半から
場所 三城公園 ソフトボール場
問合せ・申込先 河村秀一090-5450-3227

赤坂支部 健康サロンのご案内

～歌を聴いて、一緒に歌って
元気になって 心に潤いを～

ギター演奏でフォークソングを楽しみ、最後は皆で元気になろう。歌は健康に効果があり、ストレス解消にもなります。

「3密」特に十分な「換気」対策で、感染に留意して行います。

出演 伊舞木座 寺倉夫妻
日時 7月15日(木)10時より
場所 岐阜大学旧早野邸セミナーハウス
大垣市昼飯町177 TEL 71-0151
会費 100円

どなたでも自由に参加できます。当日会場、集合場所へお気軽にお越しください。皆さんの参加をお待ちしています。

問合せ 大谷 91-6049 高瀬 71-4409
宇津 91-2379

西濃南部支部

広幡スクエアステップ班

コロナウイルスの影響で室内での笑いヨガをやめてから1年以上たちます。何とか皆さんと一緒に活動したいという思いで、班をスクエアステップ中心に変えました。窓を開け、三密を避け、マスクをしてのスクエアステップです。マットも使用前後に消毒しています。スクエアステップが軌道に乗ってきた頃に、「リハビリにちょうど良いので、もう少し回数を多くして欲

しい」と声があり、今年の5月から月に2回することになりました。ライングループを利用していろいろな連絡を取り合っています。脳トレのステップをした時、なかなかできない方もありましたが、皆さんの笑いで楽しい班会になっています。毎回、民医連の『いつも元氣』を読み合わせをして勉強もしています。

会場 養老町広幡公民館
第2・3日曜日 朝10時
連絡先 長屋由利子
(0800・1612・43387)

NPO西濃たすけあい

福祉有償運送で感じたこと

福祉有償運送の活動をしました。今回は一日でお二人の支援です。最初の利用者さんの目的地は美容院です。お洒落ですね。私もこんなふうに年を重ねていきたいなと思いました。美容院で降車後、次の利用者さんが待つ歯科医院に移動。その利用者さんは回転座席を使用してもらいました。「これは楽だわ」と喜ばれました。歯科医院からスーパーへ移動し、買い物されました。「免許を返上してしまっから不便で仕方がないわ。娘たちが買ってきてくれるけど自分でも見たいものね」と利用者さん。そうですよね。誰でも自由にお買い物したいですよね。自宅へと送り、最初の利用者さんが待つ美容院へお迎えに移動しました。そしてこの方もスーパーへ寄られました。「頼んで良かったわ」と

本当に嬉しそうでした。利用者さんに喜んでいただいても充実した一日となりました。「たすけあい」の所有している福祉車両はこの回転座席付きと車椅子車両もあり、2台ともご寄付頂いた車両で大変活躍しています。

長屋由利子

西濃たすけあいでは福祉輸送のほか病院での引率などの生活支援も行っています。皆さんの困り事を助けるため担い手募集募集中です。福祉輸送は2日間の講習を受講していただき活動します。詳しく左記までご連絡下さい。入会、寄付も随時受付しております。利用、相談もお気軽にご連絡ください。

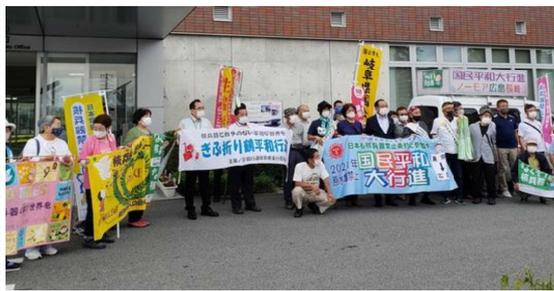
【お問い合わせ・利用連絡先】

080・3645・3268 (山口)
※受付は平日午前中です。



今年も6月16日に、国民平和大行進・東京→広島ルートが大垣市内を行進しました。コロナ禍のもとで宣伝カーのみの行進になりましたが、通し行進者、大垣→関ヶ原行進者の皆さんが、しずさと診療所に立ち寄り「日本こそ核兵器禁止条約参加を」とあいさつを交わしました(写真上)。

関ヶ原町役場前では関ヶ原町と町議会への表敬訪問と滋賀県への引継ぎ交流集会が行われました(写真下)。



ウォーキングの会

日時 7月12日(月) 雨天中止
場所 滋賀県醒井宿を流れる地蔵川の梅花藻を鑑賞します。その後、真言宗の古刹である林蔵坊を訪問し、昼食は天神宮湧水池(天神水)でとります。この湧水池は天然記念物のハリヨも生息しています。
集合場所 教育会館 8時00分
しずさと診療所 8時00分
関ヶ原ふれあいセンター 8時30分
醒井駐車場 9時00分
持物 弁当、水筒、雨具、運動靴など
会費 200円+交通費400円
問合せ先 杉野 0584-34-1817
梅村 090-4232-9057

山楽会

日時 7月19日(月) 雨天中止
場所 赤坂山(標高824m、滋賀県/福井県境)
・歩行時間2.5+2h、健脚度中級の中
・頂上から360度の景観、南に琵琶湖を望む。
集合場所 教育会館 7時30分
しずさと診療所 7時30分
関ヶ原ふれあいセンター 8時00分
登山口:マキノスキー場 9時30分
(大垣帰着 5時30分頃)
持物 弁当、お茶500ml×2本、雨具、杖など
暑さ対策用品
会費 200円+交通費700円
問合せ先 梅村 090-4232-9057
杉野 0584-34-1817 (朝のみ)

※教育会館集合者は配車調整のため梅村か杉野まで連絡ください。

診療所・介護事業所の草取りボランティアに皆さまのご協力をお願いします

日 時 7月25日(日) 7時より
雨天の場合 8月1日(日) 7時より
集合場所 しずさと診療所
問合せ先 正岡礼子 0584-27-5957

毎月の草取りボランティアへの参加ありがとうございます。5月実施の草取りでは嬉しいことが2つありました。

前日に若い女性から初めて参加したいと電話があり、よくよく聞いてみましたら、義父母が診療所でお医者さんや看護師さんたちにとっても暖かく親切にさせていただいて、何かお返しをしたいと思いますということでした。他の医院では考えられないとも言われて嬉しくなりました。

もうひとつは男性からで、実父がお世話になっていていつも感謝していますということで、新しいボランティアが2名増えました。日ごろの診療所の様子がうかがえ先生や看護師さんへ感謝です。

しずさと診療所 診療案内

内科・外科・整形外科・リハビリテーション

		月	火	水	木	金	土
8~9時	検査	柄澤	柄澤		柄澤	柄澤	
9~12時	第一診察室	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	阿川	※2
	第二診察室	岡野	岡野	岡野	岡野	岡野	
	第三診察室	粕谷		粕谷		※1	
14~17時	訪問診療	柄澤 岡野	柄澤 岡野	柄澤 岡野	柄澤 岡野	柄澤 岡野	
17~19時	第一診察室	岡野		泉		柄澤	

お盆休診について

今年度は、新型コロナウイルスワクチン接種の日程を考慮し、お盆後の休診となります。

8月15日(日)~8月18日(水)が休診期間です。

※8月17日(火)の予約エコー検査は予定通り実施します。外来診療はありません。

無料 生活相談

多重債務(破産・再生・任意整理)、離婚・親権、遺産相続、交通事故、労働災害、医療事故、消費者被害、損害賠償など。提携弁護士がご相談をお聞きします。

日時: 7月8日(木)
8月12日(木) 9月9日(木)

○相談時間: 午後2時~3時
1件あたり30分

○事前申込みが必要です。

本部電話 0584-92-3268

職員紹介

しずさと診療所

みずおち ちはる

看護師 水落 千晴



5月24日
より、しずさと診療所に入職しました。

緊張はありますが、少しでも患者さまやご家族の方々の力になれるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。

※1 金曜日の第2診察室

柄澤医師が検査(胃カメラ・エコー)を行います。

※2 土曜日の診察

第1・3は岡野医師が担当します。

第2・5は柄澤医師が担当します。

第4は松井医師が担当します。

水曜日午前の第2診察室

岡野医師が循環器専門外来を担当します。

西濃医療生協

駐車場増設について

介護センターすぐ西の交差点、北西の土地にあらたに西濃医療生協の駐車場を増設しました。今回新たに60台分の駐車場を確保することができ、今後は事業所周りの駐車場は余裕をもって利用して頂くことができます。

<医療・介護のお問い合わせは>

▼しずさと診療所

電話 0584-93-1170 FAX 0584-93-1169
〒503-0982 大垣市久徳町153-1

▼デイサービスひのき

電話 0584-93-0310 FAX 0584-93-0311
〒503-0981 大垣市松町706

▼介護センターしずさと

電話 0584-91-3912 FAX 0584-93-1151
〒503-0981 大垣市松町1452

- ・介護支援センター 0584-93-1171
- ・デイサービスセンター 0584-93-1172
- ・訪問看護ステーション 0584-93-1173
- ・ショートステイ 0584-93-1175